

「平成 27 年度 市民後見人養成講座」受講生 募集開始

東京大学のコミュニティ意思決定支援プロジェクトが開発したプログラムによる
成年後見を学ぶ市民向け講座を東京大学キャンパスで開催

一般社団法人レジリエンス教育研究所（代表理事 永久浩司）は平成 27 年度の「市民後見人養成講座」の受講生募集を開始しました。

成年後見制度は、判断能力が不十分な人に代わって、家庭裁判所により選任された後見人が、本人の財産管理や身上監護などを行うことを通じて、その生活等を支援する制度です。認知症高齢者等の大幅な増加にともない、成年後見人の需要は近年ますます高まっています。その需要の増加に対応するため、親族や専門職だけでなく、一般の市民が後見人として活躍することが望まれています。



講座会場：東京大学

本講座は、これまで東京大学市民後見研究実証プロジェクトにおいて開催してまいりました「東京大学市民後見人養成講座」の成果や理念をレジリエンス教育研究所が引き継ぎ、今年度から東京大学コミュニティ意思決定支援プロジェクト（大学院教育学研究科 社会教育学・生涯学習論研究室）との共同研究プロジェクトという新たな体制の下で開催致します。

本講座のプログラムは、東京大学のコミュニティ意思決定支援プロジェクトが厚労省モデルカリキュラムに準拠しつつ開発したもので、成年後見制度の仕組みや後見人の具体的な活動内容、各種ケーススタディや実習など合計 60 時間の本格的な座学と実地での体験活動を織り交ぜた実践的かつ総合的なプログラムとなっております。

講師陣は、後見に携わっている各分野の第一人者や後見を実践している実務家など（学者、弁護士・司法書士等の専門職、政府の政策担当者、市民後見人、後見関連機関の実務担当者など）を各方面から招いて、成年後見制度や市民後見活動などについて実務的で実践的な講義を実施します。

前進である東京大学市民後見研究実証プロジェクトの「東京大学市民後見人養成講座」では、これまで約 2,700 名が修了し、本講座をきっかけに後見活動を行う NPO 法人が数多く誕生し、市民後見人として地域社会に貢献しています。

【平成 27 年度市民後見人養成講座・募集要項】

■内 容：座学と実習によって構成された体系的プログラム

厚労省モデルカリキュラムに準拠しつつ、履修時間、科目、実習等をより充実させることにより、効果的で内容の深いカリキュラムを編成。

座学) 成年後見の制度・法律、対象者の理解と接し方、後見活動の実務や事例、介護・年金等の関連制度、行政や家裁等の役割と実務などについて学び、必要な知識を習得する。
実習) 施設体験実習(介護施設等への訪問)、後見実務演習(後見の申立書等の作成)を行い、実践的な経験を得る。

※カリキュラムの詳細 <http://community-kouken.jp/course/pdf/2015syllabus.pdf>

■会 場：東京大学本郷キャンパス

■日 程：座学) 10日間、全30講義(各日10:30~16:20)

平成27年 9月26日(土)・27日(日)

10月10日(土)・11日(日)

11月 7日(土)・8日(日)、21日(土)・22日(日)

12月12日(土)・13日(日)

※欠席した場合は補講(補講動画の視聴)を実施。

実習) 座学に並行して、10月12日~12月13日の期間で随時実施

※施設体験実習は、原則として平日(1日間)に実施。

※その他の実習は、宿題(家庭学習)の形で随時実施。

■応募条件：高等学校を卒業した方、あるいはそれに相当する資格を有する18歳以上の方(高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)合格者など)

■受講料：75,000円

■定 員：350人(定員に達し次第締切)

■申し込み：下記WEBサイトからお申し込みください。

<http://community-kouken.jp/>

※応募受付はWEBサイトのみとなります。

■主 催：一般社団法人レジリエンス教育研究所

以 上

■本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人レジリエンス教育研究所 市民後見人養成講座事務局

担当：宮崎 進一

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 伊藤国際学術研究センター3F

TEL 03-5841-0622 E-mail miyazaki@resilience-net.info

問い合わせ専用HP：<http://community-kouken.jp/contactus.html>
